

**2022年3月期**  
**第3四半期 決算説明資料〔IFRS〕**  
 (2021年4月－2021年12月)

**株式会社 LIXIL**  
 2022年1月31日

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

**2016年3月期よりIFRSに移行しています**  
**各段階利益の名称の違いは以下の通りです**

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	<b>継続事業</b>
売上高	<b>売上収益</b>
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
<b>営業利益</b>	<b>事業利益（CE）</b>
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	<b>税引前利益</b>
	継続事業からの当期利益
	<b>非継続事業</b>
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

## ▶本日のポイント

### 2022年3月期 第3四半期 業績の総括

#### ・ 前年同期比 増収

日本の一部事業で部品調達難・物流ひっ迫の影響受けるも、欧米での好調継続、アジア太平洋地域での経済活動回復の進展により増収

#### ・ 売上総利益率・事業利益率ともに前年同期比改善を維持

原材料等のコスト上昇により3Q3か月では減益なるも、従来からの体質改善施策、期初からの販管費削減、外部環境に起因するオペレーション上の課題への対応が奏功し、累計期間では増益、利益率改善を継続

#### ・ 通期計画に対する進捗率は、事業利益 77%、最終利益<sup>(1)</sup> 88%

#### ・ 日本の一部事業では部品供給不安から需要先送りが見られるが、リフォームを中心とした需要は引き続き世界的に堅調

LIXIL (1) 最終利益=親会社の所有者の帰属する当期利益

2

## ▶本日のポイント

### 直近の事業環境と対応状況

部品調達難・物流のひっ迫など外部環境に起因するオペレーション上の課題に着実に対応



原材料等の価格高騰



サプライチェーンのひっ迫



自然災害と感染症の拡大

- ・ 外部環境の変化に柔軟に対応できる価格設定と体制整備
  - ✓ タイムラグ短縮
  - ✓ デジタル化
  - ✓ パートナーの理解と協力要請
- ・ サプライチェーン強化と安定供給
  - ✓ 生産品目の絞り込み
  - ✓ 部品の共通化
  - ✓ サプライチェーン（仕入先・生産拠点）の冗長化
- ・ 外部環境に対する弾力性強化
  - ✓ 固定費の弛まぬ削減（本社縮小移転・生産体制の再編・人員配置の最適化）
  - ✓ プラットフォーム化

LIXIL

3

## ▶ 本日のポイント

足元のオペレーション上の課題への対応は継続しつつ、ニューノーマル社会における新たな事業機会を捉え、成長に向けた取り組みを推進



### コモディティ価格の上昇を背景にしたビジネス

- 従来の水まわり中心のリフォームから、住宅全体の性能を向上させるリフォームへ



### 環境問題に対する関心の高まりの加速に対応したビジネス

- 現在の省エネ基準に満たない住宅は日本の既存住宅の約90%
- 仮に日本の既存住宅の約70%で使用される単板ガラスの窓を、三層ガラスにリフォームした場合のCO2削減量は、推計で年間約1,509万トンにもものぼる<sup>(1)</sup>
- 化石燃料を主とした日本では、既存住宅の省エネが脱炭素化に大きく貢献



### ニューノーマルに対応したビジネス

- ニューノーマル社会におけるニーズの高まりに対応した差別化商品の展開
  - ✓ ウォーターシステム（GROHE Blueなど）事業の拡大
  - ✓ DIY需要に応えた「GROHE QuickFix」シリーズ<sup>(2)</sup>の発売
- アルミ・樹脂サッシのリサイクル推進
- プラスチック再生木材の利用促進

LIXIL

(1) 地球温暖化対策への優先課題は『住宅の高性能化』『脱炭素社会の実現に向けた住宅の高性能化』に関する報告書  
<https://newsroom.lixil.com/ja/2022011701>

(2) 事業関連・ESG関連トピックス p.25「GROHE QuickFixシリーズを発売」

4

## ▶ 2022年3月期 第3四半期 決算ハイライト

### ■ 売上収益 10,744億円、対前年 4%増 (3Q3カ月 1%増)

- 3Q9カ月：国内2%減（子会社売却影響を除く1%増）、海外20%増
- 3Q3カ月：国内4%減（子会社売却影響を除く-0%）、海外13%増  
3Q3カ月では日本事業の一部での機器の供給不足、部品調達難の影響をニーズの高い商品の安定供給と海外事業によりカバー

### ■ 事業利益 618億円、対前年 165億円増 (3Q3カ月 54億円減)

- 3Q9カ月：欧米の売上伸長、日本の構造改革進展、期初からの販管費削減努力により増益確保
- 3Q3カ月：期初の値上げを上回る原材料価格の上昇、製品の安定供給のためのコスト増により減益なるも、デジタル化の推進等による販管費削減努力により対応

### ■ 最終四半期利益<sup>(1)</sup> 415億円、対前年 28億円増

- コア事業への集中により業績の変動要因を低減し、四半期利益は安定した進捗

LIXIL

(1) 最終四半期利益=親会社の所有者の帰属する四半期利益

5

## 2022年3月期 第3四半期 連結業績結果

(億円)	第3四半期 9ヵ月				第3四半期 3ヵ月		
	21/3期	22/3期	増減	%	22/3期	増減	%
売上収益	10,355	<b>10,744</b>	+389	+3.8%	<b>3,782</b>	+32	+0.8%
売上総利益	3,499	<b>3,734</b>	+235	+6.7%	<b>1,292</b>	-31	-2.3%
(%)	33.8%	<b>34.8%</b>	+1.0pt	-	<b>34.2%</b>	-1.1pt	-
販管費	3,047	<b>3,116</b>	+69	+2.3%	<b>1,047</b>	+23	+2.3%
事業利益 <sup>(1)</sup>	452	<b>618</b>	+165	+36.6%	<b>245</b>	-54	-18.0%
(%)	4.4%	<b>5.7%</b>	+1.4pt	-	<b>6.5%</b>	-1.5pt	-
非継続事業を含む 最終四半期利益 <sup>(2)</sup>	387	<b>415</b>	+28	+7.3%	<b>158</b>	-120	-43.2%
EPS (円)	133.35	<b>142.79</b>	+9.44	-	<b>54.33</b>	-41.55	-
EBITDA <sup>(3)</sup>	1,059	<b>1,222</b>	+163	+15.4%	<b>448</b>	-52	-10.5%
(%)	10.2%	<b>11.4%</b>	+1.1pt	-	<b>11.8%</b>	-1.5pt	-

- 事業利益率：1.4pt良化（売上総利益率：1.0pt良化、販管費率：0.4pt良化）
- 売上総利益率・事業利益率：利益率の高い海外事業の売上構成比率の上昇、過年度における構造改革の効果発現と、価格の適正化・販管費削減努力により良化
- 販管費：売上増加に伴い9ヵ月で前年同期比69億円増加（日本73億円減少、海外142億円増加）するも販管費率は0.4pt良化

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当  
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

6

## 2022年3月期 第3四半期 セグメント別業績概況

水まわり事業の好調継続が増収に、コア事業が増益に貢献

報告セグメント	(億円)	第3四半期 9ヵ月			第3四半期 3ヵ月	
		21/3期 実績	22/3期 実績	増減	22/3期 実績	増減
LWT	売上収益	5,774	<b>6,472</b>	+698	<b>2,267</b>	+150
	事業利益	464	<b>645</b>	+181	<b>237</b>	-28
LHT	売上収益	3,661	<b>3,544</b>	-117	<b>1,247</b>	-59
	事業利益	260	<b>291</b>	+31	<b>108</b>	-16
LBT	売上収益	708	<b>657</b>	-51	<b>251</b>	+6
	事業利益	8	<b>20</b>	+12	<b>9</b>	+6
住宅・サービス事業等 (H&S)	売上収益	369	<b>227</b>	-142	<b>77</b>	-62
	事業利益	19	<b>-5</b>	-25	<b>2</b>	-8
全社/連結調整	売上収益	-157	<b>-156</b>	+1	<b>-60</b>	-2
	事業利益	-298	<b>-332</b>	-34	<b>-111</b>	-8
合計	売上収益	10,355	<b>10,744</b>	+389	<b>3,782</b>	+32
	事業利益	452	<b>618</b>	+165	<b>245</b>	-54

為替影響：

3Q9ヵ月：売上収益 +192億円、事業利益 +19億円

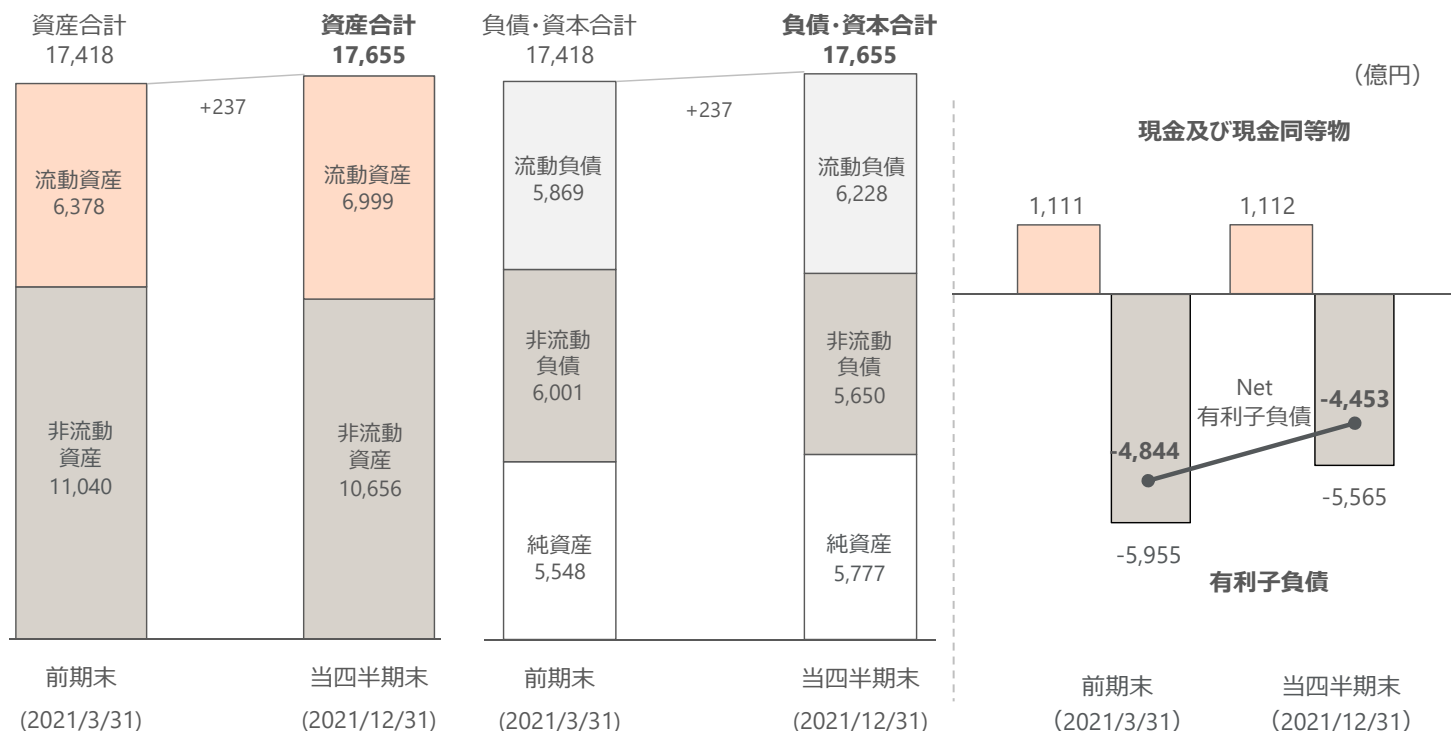
3Q3ヵ月：売上収益 +77億円、事業利益 +11億円

LIXIL

7

## 連結財政状態

自己資本比率は、21/3期末時点から0.9pt改善し、32.6%に。  
通期計画34%に対し順調に進捗



LIXIL

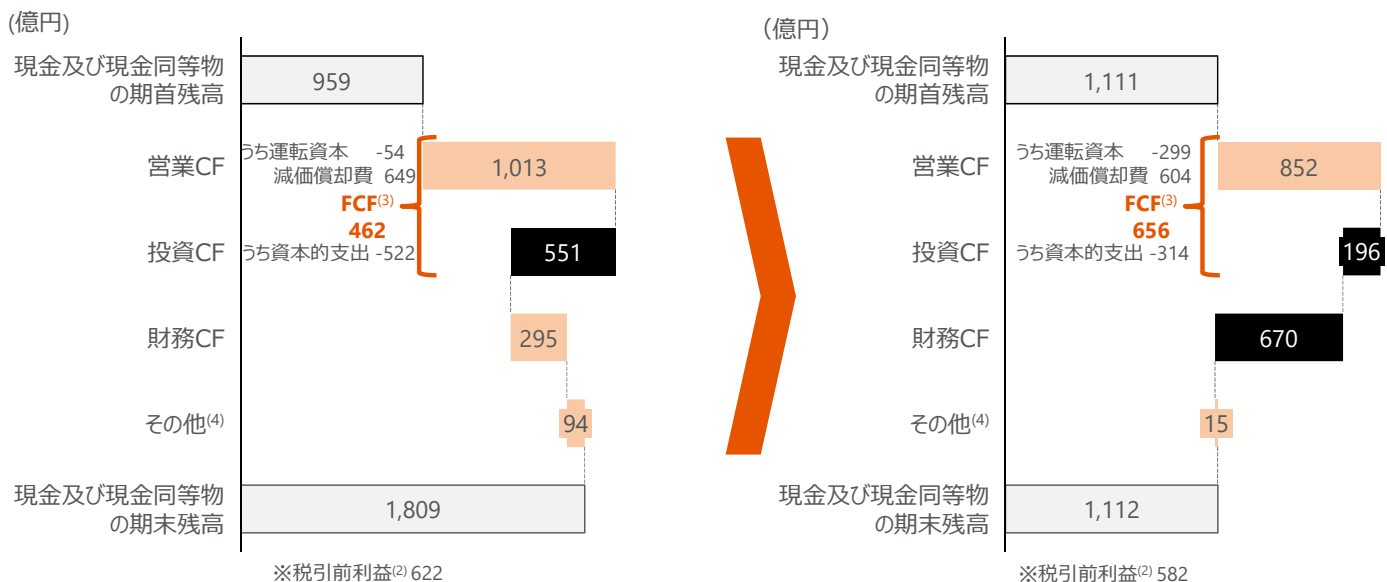
8

## キャッシュフローの状況及び現金残高

フリーキャッシュフローは、構造改革推進による減少176億円<sup>(1)</sup>と事業改革による運転資本の増加、アセットライト化促進による投資の減少により前年同期比では195億円の増加

21/3期 3Q<sup>(2)</sup>

22/3期 3Q<sup>(2)</sup>



LIXIL

(1) 人事施策実施に伴う支出、事業売却影響  
(2) 非継続事業を含む  
(3) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

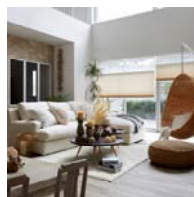
(4) 「その他」= 為替換算影響額 + 売却目的保有資産に含まれる現金及び現金同等物

9

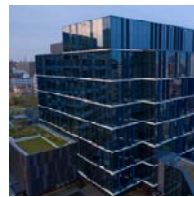
## セグメント別決算の概要



ウォーターテクノロジー事業 (LWT)



ハウジングテクノロジー事業 (LHT)



ビルディングテクノロジー事業 (LBT)



住宅・サービス事業等 (H&S)

10

## ウォーターテクノロジー事業 (LWT)

海外事業は好調な欧米が牽引し、増収増益。

日本事業は衛生への関心の高まりによる需要を背景に、増収増益

4月-12月 億円		22/3期 3Q	YoY 現地通貨 ベース	
地域別売上 (1)	アメリカ	1,112	+15%	
	欧州、中東、 アフリカ地域	1,391	+19%	
	中国	440	+2%	
	アジア太平洋地域	344	+19%	
	日本	3,123	+4%	
	連結調整・他	62		
	<b>Water Technology</b>	<b>6,472</b>	<b>+12%</b>	
事業利益	海外	376	+55%	11.2%
	日本	269	+22%	8.6%
	<b>Water Technology</b>	<b>645</b>	<b>+39%</b>	
	事業利益率	10.0%	+1.9pt	

売上収益

### ■ アメリカ

- ✓ 上期に引き続き、売上はコロナ前の水準を上回って伸長
- ✓ 全販売チャネルで前年比増収。特に卸向けが好調

### ■ 欧州、中東、アフリカ地域

- ✓ 好調な需要とDIY需要に応えた「QuickFix」シリーズ<sup>(2)</sup>の発売により、売上はコロナ前の水準を上回って全商品カテゴリー・販売チャネルで伸長

### ■ 中国

- ✓ 小売り・eコマースチャネルにおけるGROHE商品の売上好調。引き続き、ビジネス構造の改革を推進

### ■ アジア太平洋地域

- ✓ ベトナム・タイなどの一部地域でコロナの影響を受けるも、インド・インドネシアを中心とした経済活動の回復進展により、前年比増収

### ■ 日本

- ✓ 中高級品価格帯商品とリフォームの需要堅調により増収
- ✓ 衛生への関心の高まりにより、タッチレス水栓、およびタッチレス水栓を搭載したキッチン・洗面化粧台の売上好調継続

事業利益

### ■ 海外・日本

- ✓ 海外：欧米での売上好調に加え、販売価格の適正化・販管費等コストの効率化により増益
- ✓ 日本：リフォーム向け売上・中高級品価格帯商品の売上構成比の向上と資材等価格上昇に対する価格の適正化と販管費削減により増益

## ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

体質強化施策および販管費削減努力により、前年の子会社売却影響を除き、増収増益

4月-12月 億円		22/3期 3Q	YoY
地域別売上	日本	3,516	-3% <sup>(1)</sup>
	海外	28	-40%
	Housing Technology	3,544	-3%
事業利益	Housing Technology	291	+12%
	事業利益率	8.2%	+1.1pt

- “ニューノーマル”への対応、および、在宅時間が増えたことを背景とした国内でのリフォーム需要の増加により、前年の事業売却等影響を除く売上は、増収
  - ・ リシェント（リフォームドア）：売上 前年比16%増
  - ・ インプラス（リフォーム樹脂内窓）：売上 前年比22%増
  - ・ スマート宅配ポスト：売上 前年比52%増
- 従来からの体質強化施策および販管費削減努力が奏功し、事業利益は31億円の増益、事業利益率は1.1ptの改善
- トリプルガラスの高性能ハイブリッド窓「TW」<sup>(2)</sup>を2月より発売し、本年度計画していたすべての窓シリーズの刷新を完了

LIXIL (1) 事業売却等影響除く +2%  
(2) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2022011703>

12

## ビルディングテクノロジー事業 (LBT)、住宅・サービス事業等 (H&S)

体質強化への継続的取り組みと生産性向上施策の進展により増益

4月-12月 億円		22/3期 3Q	YoY
ビルディング	売上	657	-7%
	事業利益	20	+155%
	事業利益率	3.0%	+1.9pt

- 体質強化と生産性向上施策の進展により事業利益率は前年比1.9pt改善
- ビル案件は、長期に渡り、段階的に収益認識されることから、取り組みと効果の発現時期にタイムラグが生じるため、来期以降も継続的な利益改善を見込む

前年度事業売却等影響を主因として、減収減益

4月-12月 億円		22/3期 3Q	YoY
H & S	売上	227	-38% <sup>(1)</sup>
	事業利益	-5	-
	事業利益率	-2.4%	-7.7pt

- 前年度の事業売却と、不動産大型物件売却影響の剥落により減収
- 販管費抑制するも、事業売却影響・資材高騰影響により赤字

LIXIL (1) 事業売却等影響除く -7%

13

## ➤ (ご参考) データ集

14

## ➤ 商品・サービス別売上状況

非接触（タッチレス）化や快適性の向上を目的とした商品需要が引き続き堅調

セグメント	主要商品名	(億円)				(%)						
		21/3期 通期実績	21/3期 3Q実績	22/3期 3Q実績	前年 同期比 (%)	前年同期比				前年同期比		
						21/3期				22/3期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q				
LWT	衛生機器**	1,055	780	771	-1.0%	+1.5	-8.5	-2.1	+8.4	+0.9	-3.9	-0.1
	バスルーム	870	655	661	+1.0%	-20.8	-18.8	-9.0	-3.9	+10.7	-2.9	-3.3
	洗面化粧台**	371	271	291	+7.3%	-8.5	-9.0	+8.9	+2.9	+13.7	+6.6	+2.9
	キッチン	1,001	740	778	+5.1%	-14.8	-20.0	-3.9	-1.0	+9.5	+4.8	+1.8
	タイル	330	246	245	-0.2%	-5.3	-16.6	-6.2	-7.6	-1.6	+0.2	+0.6
LHT	住宅サッシ	1,715	1,321	1,263	-4.4%	-10.7	-13.3	-4.2	-10.8	-2.0	-4.3	-6.6
	エクステリア	994	762	775	+1.7%	-9.4	-14.6	-6.0	-8.5	+3.1	+1.2	+0.7
	インテリア建材	624	470	465	-1.1%	-8.1	-18.0	-7.8	-8.2	-3.1	+0.5	-0.7
	その他LHT <sup>(1)</sup>	547	456	305	-33.1%	-30.0	-33.7	-14.9	-53.3	-36.5	-32.9	-30.3
LBT	ビルサッシ	934	708	657	-7.2%	-10.8	-18.2	-21.1	-17.3	-15.4	-9.4	+2.3
H&S	住宅・サービス事業 <sup>(1)</sup>	466	369	227	-38.4%	-13.9	-15.1	+1.2	-28.0	-36.5	-32.9	-44.7
	海外売上 <sup>(2)</sup>	3,847	2,805	3,377	+20.4%	-21.5	+2.3	+1.9	+2.6	+49.6	+6.2	+13.0
	その他・連結調整等	1,030	773	929	-							
売上合計		13,783	10,355	10,744	+3.8%	-14.6	-11.6	-3.8	-6.2	+11.4	+0.1	+0.8
(ご参考) **「衛生機器」「洗面化粧台」に含まれる水栓金具の売上状況												
LWT	水栓金具	217	156	180	15.9%	+13.5	+4.9	+19.5	+22.2	+17.9	+13.6	+16.1

LIXIL

(1) 前年同期比での減少は、2021年3月期4Qにおける事業売却等影響による  
(2) 海外水まわり事業の商品別売上状況については、p.17参照

15



## 日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

自宅で過ごす時間の増加を背景にリフォーム需要が増加し、リフォーム売上構成比2.7pt上昇

(億円)	第3四半期 9か月				第3四半期 3か月	
	21/3期実績 <sup>(1)</sup>	22/3期実績	増減	前年同期比	22/3期実績	前年同期比
リフォーム商材売上	2,234	<b>2,369</b>	135	+6%	842	+1%
LWT-J				+8%		+0%
LHT-J				+4%		-1%
LBT				+3%		+26%
リフォーム売上比率	37%	<b>40%</b>	+2.7pt		40%	+1.0pt

### セグメント別リフォーム売上構成比

	21/3期3Q	22/3期3Q	増減
LWT	45%	47%	+2.5pt
LHT	33% <sup>(1)</sup>	35%	+1.7pt
LBT	21% <sup>(1)</sup>	26%	+4.8pt
国内・計	<b>37%</b>	<b>40%</b>	<b>+2.7pt</b>

### リフォーム加盟店の推移

店	20年3月	21年3月	21年12月
LIXILリフォームショップ (FC)	554	540	<b>538</b>
LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,789	11,373	<b>11,314</b>
リクシルPATTOリフォームサービスショップ	3,602	3,817	<b>3,801</b>

LIXIL (1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正

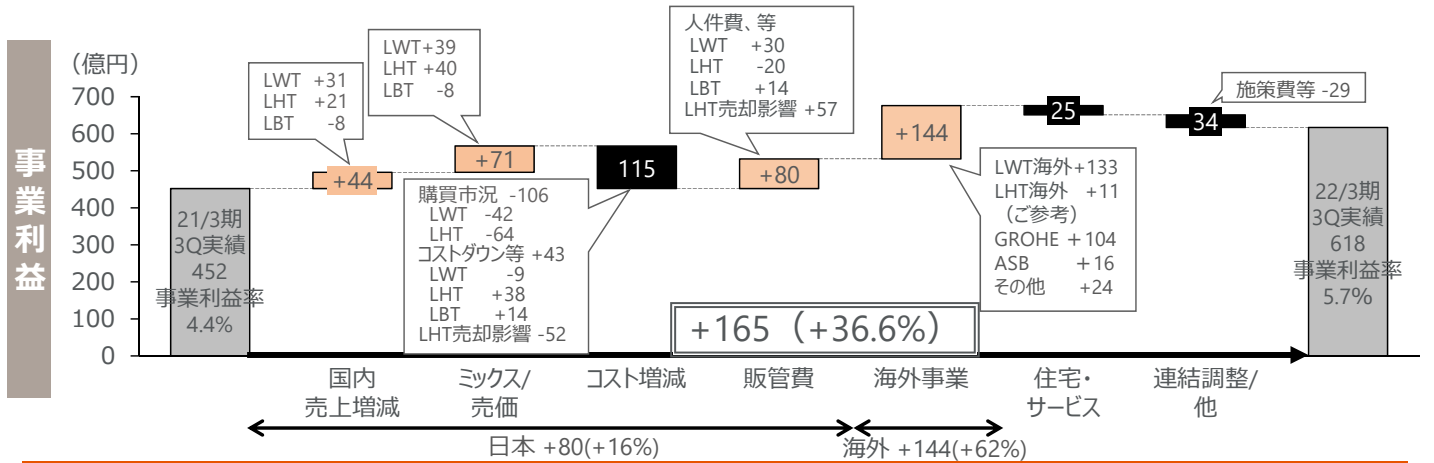
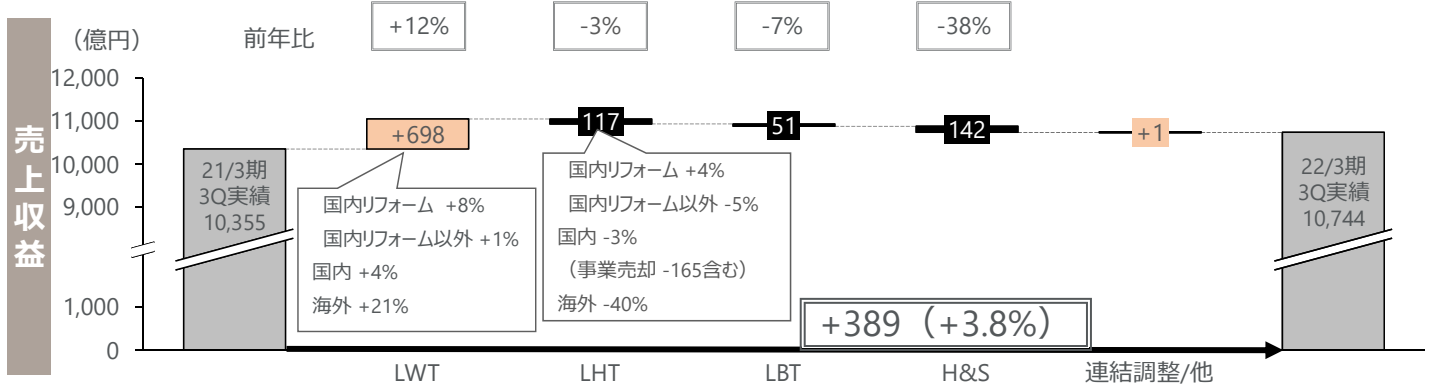
16

## 海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

ブランド・ポートフォリオやグローバルな生産体制、先進技術を活かすことで、ポートフォリオ・ギャップを埋め、海外事業の成長を促進

	22/3期 第3四半期 9か月					22/3期 第3四半期 3か月				
	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域
<b>売上構成比</b>										
水栓金具 (浴室)	49%	14%	65%	49%	38%	49%	13%	65%	49%	37%
衛生陶器等	33%	54%	21%	42%	57%	34%	54%	22%	41%	58%
水栓金具 (キッチン)	10%	5%	14%	6%	3%	10%	5%	13%	6%	2%
浴槽・シャワーシステム	5%	20%	0%	1%	1%	5%	19%	0%	0%	1%
その他	2%	8%	0%	3%	2%	2%	8%	0%	4%	2%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
<b>売上伸び率</b>										
水栓金具 (浴室)	+16%	+3%	+17%	+8%	+23%	+2%	-8%	+0%	+14%	+17%
衛生陶器等	+17%	+20%	+25%	-7%	+9%	+9%	+12%	+8%	-7%	+18%
水栓金具 (キッチン)	+17%	+8%	+18%	+3%	+46%	+6%	+14%	+5%	+1%	+50%
浴槽・シャワーシステム	+14%	+18%	-57%	-11%	-33%	-1%	+2%	+69%	-31%	-5%

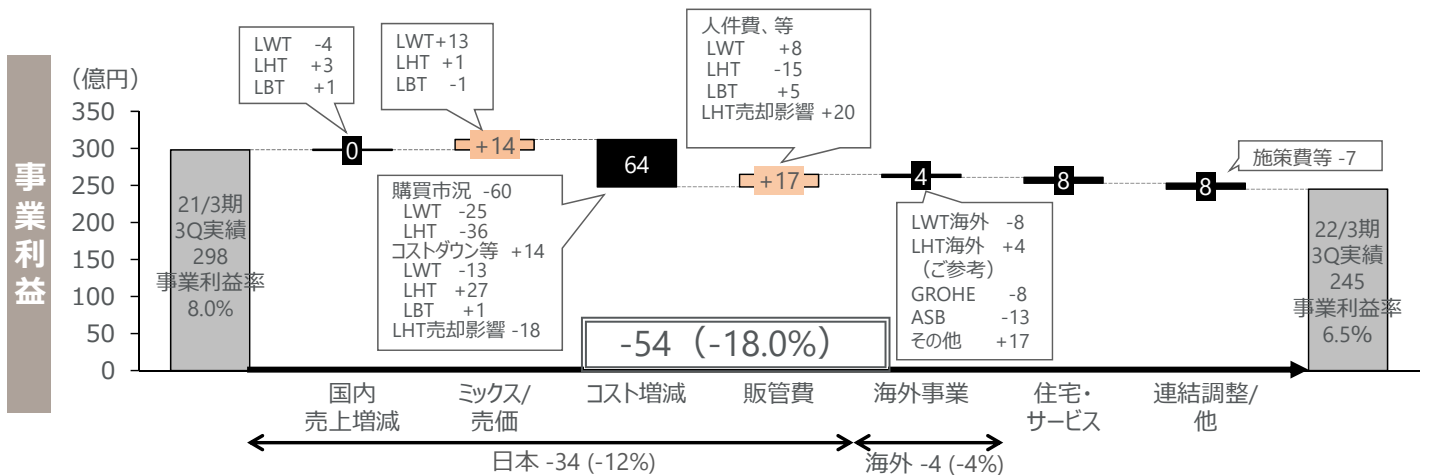
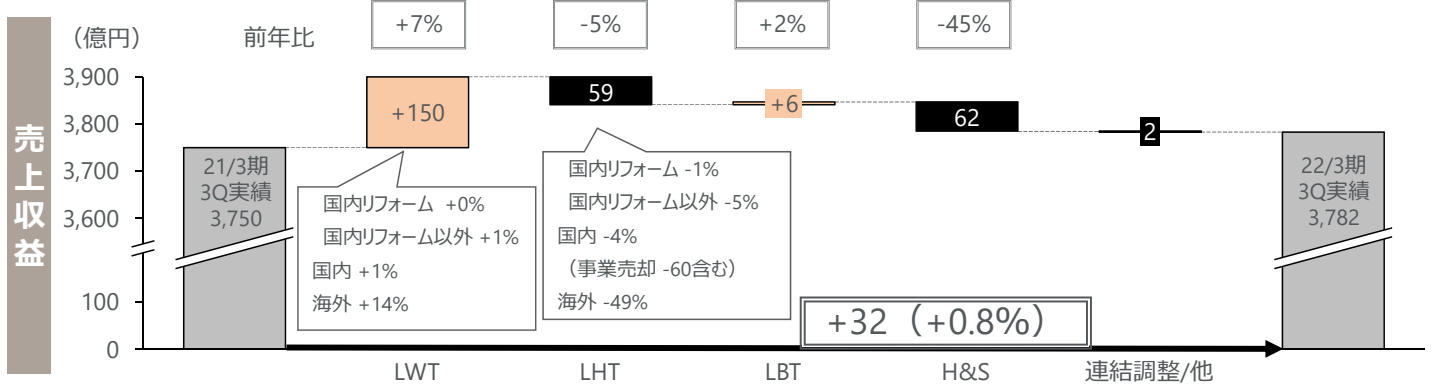
## 第3四半期（9ヵ月） 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

18

## 第3四半期（3ヵ月） 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

19

## 第3四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

(億円)	21/3期 3Q実績	22/3期 3Q実績	増減
売却目的で保有していた資産の処分益	-	24	+24
その他	47	31	-16
<b>その他の収益</b>	<b>47</b>	<b>55</b>	<b>+8</b>
有形固定資産除売却損	10	11	+1
減損損失	31	18	-14
売却目的で保有する処分グループを売却コスト控除後の公正価値で測定したことにより認識した損失	54	-	-54
その他	33	45	+12
<b>その他の費用</b>	<b>128</b>	<b>73</b>	<b>-55</b>
受取利息	7	12	+4
受取配当金	14	16	+2
デリバティブ評価益	-	10	+10 (A)
為替差益	26	-	-26 (B)
<b>金融収益</b>	<b>47</b>	<b>38</b>	<b>-10</b>
支払利息	30	34	+4
デリバティブ評価損	37	-	-37 (B)
為替差損	-	14	+14 (A)
その他	0	1	+1
<b>金融費用</b>	<b>67</b>	<b>48</b>	<b>-19</b>

(A)「デリバティブ評価益」は「為替差損」と両建てで表示されています。

	22/3期 3Q実績
デリバティブ評価益	10
為替差損	-14
Net	-4 損

(B)「為替差益」は「デリバティブ評価損」と両建てで表示されています。

	21/3期 3Q実績
為替差益	26
デリバティブ評価損	-37
Net	-11 損

LIXIL

20

## セグメント別 実績及び通期業績予想

	(億円)	21/3期 3Q			22/3期 3Q				22/3期 通期予想			
		国内	海外	計	国内	海外	計	前年同期比%	国内	海外	計	前期比%
LWT	売上収益	3,016	2,758	5,774	3,123	3,349	6,472	+12.1%	4,315	4,340	8,655	+10.4%
	事業利益	221	243	464	269	376	645	+39.1%	365	460	825	+32.7%
	%	7.3%	8.8%	8.0%	8.6%	11.2%	10.0%	+1.9pt	8.5%	10.6%	9.5%	+1.6pt
LHT	売上収益	3,614	47	3,661	3,516	28	3,544	-3.2%	4,715	65	4,780	+0.8%
	事業利益	270	-11	260	291	0	291	+11.9%	385	-20	365	+16.1%
	%	7.5%	-22.3%	7.1%	8.3%	0.1%	8.2%	+1.1pt	8.2%	-	7.6%	+1.0pt
LBT	売上収益	708		708	657		657	-7.2%	865		865	-7.4%
	事業利益	8		8	20		20	+154.5%	30		30	+14.9%
	%	1.1%		1.1%	3.0%		3.0%	+1.9pt	3.5%		3.5%	+0.7pt
H&S	売上収益	369		369	227		227	-38.4%	300		300	-35.6%
	事業利益	19		19	-5		-5	-	10		10	-53.2%
	%	5.3%		5.3%	-2.4%		-2.4%	-7.7pt	3.3%		3.3%	-1.3pt
連結調整・他 <sup>(1)</sup>	売上収益			-157			-156	-			-200	-
	事業利益			-298			-332	-			-430	-
LIXIL <sup>(1)</sup>	売上収益	7,707	2,805	10,355	7,524	3,377	10,744	+3.8%	10,195	4,405	14,400	+4.5%
	事業利益	518	232	452	574	376	618	+36.6%	790	440	800	+39.6%
	%	6.7%	8.3%	4.4%	7.6%	11.1%	5.7%	+1.4pt	7.7%	10.0%	5.6%	+1.4pt

LIXIL

(1) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

21

## 主要海外子会社

ASB (ASD Holdings)	21/3期 3Q	22/3期 3Q	前年同期比	単位：百万米ドル
為替レート(期中平均レート)	105.87	<b>111.38</b>	-	
売上収益	919	<b>1,059</b>	+15%	
事業利益	62	<b>73</b>	+18%	
事業利益率	7%	<b>7%</b>	+0.2pt	

決算期	21/3期 期末残高	22/3期 3Q (9ヵ月)		期末残高
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	110.71	111.38	-	<b>115.02</b>
のれん	228	-	0	<b>228</b>
無形資産	206	-5	0	<b>202</b>

Grohe Group (グロー工)	21/3期 3Q	22/3期 3Q	前年同期比	単位：百万ユーロ
為替レート(期中平均レート)	122.30	<b>130.85</b>	-	
売上収益	1,095	<b>1,337</b>	+22%	
事業利益	139	<b>209</b>	+50%	
事業利益率	13%	<b>16%</b>	+2.9pt	

決算期	21/3期 期末残高	22/3期 3Q (9ヵ月)		期末残高
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	129.80	130.85	-	<b>130.51</b>
のれん	1,197	-	3	<b>1,201</b>
無形資産	1,429	-9	0	<b>1,420</b>

LIXIL (1) 為替換算差額など

22

## （ご参考）事業関連・ESG関連トピックス

## 事業関連・ESG関連トピックス

### CDPウォーターセキュリティ2021<sup>(1)</sup> 最高位となるAリスト企業に選定

水リスクに対応する多面的な取り組みにより、  
最高評価を獲得



- 事業活動や製品・サービスを通じた水の保全やグローバルな衛生課題の解決に関する、LIXILの活動と情報開示により、「CDPウォーターセキュリティ2021」において最高評価となる「Aリスト企業」に選定
- CDPウォーターセキュリティのAリスト企業として選定されたのは世界118社、日本企業では39社

### ユニセフとのパートナーシップ「MAKE A SPLASH!」活動地域を拡大

グローバルな衛生課題の解決を加速



- 2018年に締結したLIXILとユニセフのグローバルパートナーシップ「MAKE A SPLASH!」は、エチオピア、ケニア、タンザニアにおいて290万人の衛生環境の改善に貢献<sup>(2)</sup>
- より多くの人びとの衛生環境改善を目指し、特に人口の多いインド、インドネシア、ナイジェリアの3か国にも活動地域を拡大
- より良い衛生の選択肢の提供に加え、衛生関係者の機会創出の支援等にも注力

LIXIL

(1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2021121402>

(2) ニュースリリース [https://www.lixil.com/jp/news/pdf/UNICEF\\_LIXIL\\_MaS\\_Expansion\\_211119\\_JP.pdf](https://www.lixil.com/jp/news/pdf/UNICEF_LIXIL_MaS_Expansion_211119_JP.pdf)

24

## 事業関連・ESG関連トピックス

### 美しい日本の四季を切り取る パノラマウィンドウ「TW」発売<sup>(1)</sup>

脱炭素社会に向けて、住宅の高性能化を推進



(写真：ハイブリッド窓「TW」、2022年2月より西日本、4月より東日本で発売)

- 国内最高水準の窓性能を備えた高性能ハイブリッド窓「TW」を発売し、すべての窓シリーズ商品の刷新が完了
- トリプルガラスの高性能ハイブリッド窓にリフォーム可能な取替窓「リプラス 高断熱汎用枠」も発売し、既存住宅の高性能化も推進<sup>(2)</sup>
- 2026年3月期までに、高性能窓比率<sup>(3)</sup>100%を目指し、住宅の脱炭素型への変換を推進

### 「GROHE QuickFix」シリーズ<sup>(4)</sup>を発売

DIY需要を捉え、LWT海外成長を加速



- GROHEは、高まるDIY需要に応える「QuickFix」シリーズを発売
- 製品とともに、取り付け用の工具、分かりやすい取り付け説明書、QRコードで読み取れる説明ビデオを提供することで、手軽で簡単にできるDIYリフォームを実現
- 持続的成長の実現に向け、水まわり事業の海外成長を加速

LIXIL

(1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2022011703>

(2) ニュースリリース [https://newsroom.lixil.com/ja/20220117\\_02](https://newsroom.lixil.com/ja/20220117_02)

(3) 高性能窓比率 2021年3月期 74%

(4) Webサイト（英語のみ） <https://www.quickfix-grohe.com/>

25

## 事業関連・ESG関連トピックス

### 2021年度省エネ大賞 「資源エネルギー庁長官賞」受賞<sup>(1)</sup>

#### 「スーパーウォール工法リフォーム」を用いた 断熱改修支援スキームが評価



(写真：スーパーウォール工法リフォーム)



- 高性能住宅の普及に向け、施設・各種ツールと連動させ一連のプロセスを支援していることが評価され、(株)LIXILおよび(株)LIXIL TEPCOスマートパートナーズは、省エネ大賞の製品・ビジネスモデル部門「資源エネルギー庁長官賞」を受賞
- 「スーパーウォール工法リフォーム」は、住みながら、家1棟をまるごと断熱改修可能とする工法で、既存住宅の高性能化を促進し、脱炭素社会の実現に向けて貢献

### トステムタイがGreen Industry Projectの 最上位Level 5に認定<sup>(2)</sup>

#### サプライチェーン全体における 環境活動への取り組みが評価



- LHTの生産拠点として最大規模であるトステムタイは、サプライチェーン全体に環境配慮型ネットワークを拡大したことが評価され、タイ国工業省主催のGreen Industry Projectの最上位Level 5に認定
- Level 5はアルミ業界として初受賞

LIXIL (1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2022011401>  
(2) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/20211224>

## 外部評価

### MSCI日本株女性活躍指数

役員や従業員、新入社員における女性の割合が向上し、MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定（5年連続、2021年6月）

2021 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

### FTSE4Good Index Series

人権、コーポレート・ガバナンス、グリーン調達ガイドライン策定などの取り組みが評価され、FTSE Russell社の「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄と「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定（5年連続、2021年6月）



### Dow Jones Sustainability World Index

ESG分野における取り組みを強化し、情報開示や透明性の向上を図ったことを評価され、DJSI Worldの構成銘柄に選定。同時に、DJSI Asia Pacificの構成銘柄にも選定（3年連続、2021年11月）

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA

### PRIDE指標2021

すべての人々のトイレ利用に関する人権が尊重される社会環境の実現を目指す活動が評価最高位「ゴールド」を受賞。新設された「レインボー」も同時受賞（「ゴールド」5年連続、2021年11月）



### 日経SDGs経営調査

日経SDGs経営調査にて星4.5、日経スマートワーク調査にて星4を獲得（2021年11月）

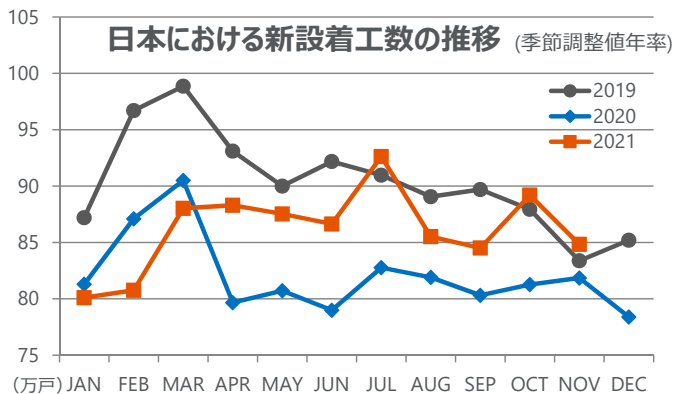


### CDPウォーターセキュリティ

水リスクに対応する多面的な取り組みにより、最高位Aランクに選定（2021年12月）



## 事業環境



### 新築着工水準 (対前年比)

- 2021/1-9： +4.7%
- 2021/1-11： +5.1%

	2021年1月-11月 (11ヵ月)		2021年4月-11月 (8ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	788,091	+5.1%	597,092	+7.5%
持家(1)	262,844	+10.3%	200,914	+12.7%
貸家	296,154	+4.9%	226,559	+8.4%
分譲マンション	94,201	-7.4%	68,255	-10.3%
分譲戸建(2)	128,371	+7.5%	96,369	+12.0%
戸建合計(1)+(2)	391,215	+9.4%	297,283	+12.4%



為替 (期中平均レート)	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画前提
米ドル	109.10円	106.17円	105.0円
ユーロ	121.14円	123.73円	126.0円

原材料価格の 実績	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	21.5万円/トン	19.9万円/トン	22.6万円/トン
銅価格	58.6万円/トン	60.3万円/トン	70.8万円/トン

LIXIL

28

LIXIL

この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。  
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により  
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE  
世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現